

富士見町議会行政視察報告書

平成29年12月25日

富士見町議会

議長 五味 平一 殿

総務経済常任委員会

委員長 名取 久仁春

社会文教常任委員会

委員長 小林 市子

平成29年12月定例議会において、決議された閉会中の議員派遣の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

テーマ	①ふるさと納税の状況 ②議会本会議の動画配信
視察先	西伊豆町
実施期日	平成29年12月14日（木）・15日（金）

視察事項：

1. 視察の目的

姉妹町である西伊豆町議員との交流を図るとともに、ふるさと納税の状況、議会本会議の動画配信、議会運営などについて視察する。

2. 視察報告

①ふるさと納税の状況（担当：町づくり課ふるさと納税係）

- ・西伊豆町では「ふるさとチョイス」の利用、海産物などの豊富な返礼品を利用することによって、平成27年度約10億円、平成28年度約11億円と好調に推移してきた。
- ・この間総務省より高額寄付に対する返礼品の廃止、感謝券の廃止、返礼割合3割以下など直接指導を受け、来年3月まで見直すことにしている。
- ・今年度は総務省通達により、年度当初駆け込み需要があったが、今のところ前年割れ。本格参入した自治体が増えたことも影響か？
- ・参画している事業所ではたとえば宿泊施設ではシーズンオフの客数が少ないため、従業員を雇えない、飲食店ではホテル宿泊者が町内飲食店に来ない、等の課題を抱えている。

- ・これら課題解決のため、産業・観光施策を「町づくり課」に集約し、ふるさと納税を町の産業振興のベースとなる施策として取り組んでいる。
- ・今後他の課とも連携して、「西伊豆の漁業を元気にしたい！応援プロジェクト」等、クラウドファンディングにも力を入れていきたい。
- ・返礼品の6割強が干物・海産物、3割強が感謝券。感謝券の8割前後が宿泊施設利用。

②議会本会議の動画配信（議会事務局）

- ・西伊豆町議会では平成26年度12月議会よりホームページで一般質問の動画配信を始めている。
- ・議場に固定カメラを2台置き、町側と議員側を撮影し、動画編集ソフトにより編集した後、「YouTube」にアップロードしている。
- ・事務局で編集するが、議会後1～2週間でアップロードしている。
- ・導入費用はホームページ改修用の委託料約15万円、備品購入約21万円、計約36万円であった。事務局で編集しているため、ランニングコストはない。
- ・視聴回数は導入当初は1定例会につき500回以上と多かったが、このところ100～200回前後。

③議会運営について

- ・一般質問は全員がやっているわけではない、このところ定例会ごとに4～8名。
- ・一般質問は1人80分。最初議長席前の席で質問し、2回目以降は議員側「再質問席」で質問する。（一問一答方式）
- ・一般質問の最初の質問の原稿は前もって理事者側に渡しておく。2回目以降の質問は渡していない。

4. 感想

- ・ふるさと納税を進めるうえで、クラウドファンディングは当町でも課題か。
- ・一般質問の動画配信は開かれた議会を目指すうえで、少ないコストで立ち上げることができることがわかり、当町議会でも取り上げたい。
- ・一般質問の最初の原稿を理事者側に前もって渡しておくことは、質問日前ぎりぎりに原稿を作っている私にとっては困難。

<文責：名取武一>